

令和4年度

赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和5年3月24日(金)

校長 高橋 励



あと一週で卯月を迎えます

保護者・地域の皆様。この一年間、赤羽根中学校の子どもたちを温かく見守っていただきありがとうございます。学校生活を彩る行事も少しずつ再開することができました。学校に関わる多くの方々の支えのありがたさにも改めて気づけた一年間でした。

学校教育のなかでの新型コロナウイルスとの付き合い方も、この4月から対応が変わっていきますが、今後とも子どもたちの学びの場を豊かなものにしていくために、お力をお貸しください。

Dear Student(*^_^*)

想いをきちんと受け取るということ

卒業式明けの週末に、皆さんがお世話になったふれあい講座・中学生と大人のついで講師を務めてくださった方から一通のお葉書をいただきました。



数年振りのふれあい講座、開かれまして本当にうれしく思います。

(中略)

感想文、誠に有難うございました。又、お会い致したいと存じます。御準備下さいました●●先生、有難うございました。先生方の御健康をお祈り申し上げます。

不思議なものです。こちらがお世話になったのに、その時間は講師の方にとっての大切な時間になったのです。

3月初めの小和田小学校区推進協議会の会合でも、講座の様子話題になり、皆さんが熱心に取り組む姿を温かく語る地域の声を聞かせていただき、とてもありがたく感じました。

どうやら、人の想いは、きちんと受け取ることによって、与えてくださった方に何かを「贈る」作用があるようです。皆さんが講座に向きあう姿から、講師の方々は「想いをきちんと受け取ってくれた」と感じてくれたようです。そして、皆さんのお礼状の中からも何かを受け取ってくださったようです。

このやり取りがとてもあたたかく感じられるのは、わたしだけではないと思うので、皆さんにも紹介したいと思いました。

ちなみに、(中略)の部分には、その講座をどんな気持ちでご準備されたかが記されていきました。中学生の皆さんとの時間を大切に思っていたことが伝わってきました。そして、他の講座の講師の方々も、皆さんとの時間を大切に思いながらご準備いただいたのだろうなあ、と改めて考えるきっかけになりました。

先日、1年生は「認知症サポーター講座」を受講しました。振り返りを書くときにどんな気持ちで書きましたか？お話ししてくださいました方に「赤羽根中の生徒さんに話せてよかった」と感じてもらえているとうれしいですね。

だい かいがっこうひょうぎいんかい ほうこく
～第3回学校評議員会の報告にかえて～

こんげつ にち すい かいさい ほんねんど
今月15日(水)に開催しました本年度の
だい かいめ がっこうひょうぎいんかい ねんせい くみ
第3回目の学校評議員会。1, 2年生と7組
ようす をごらん いただいたあと、がっこうひょうか
の様子をご覧いただいたあと、学校評価への
いけんとう わだい こんだん も
ご意見等を話題に懇談を持ちました。

さんかん からもど こんだん も
参観から戻った懇談でまず聞かれた感想
は「授業の雰囲気は落ち着いていますね」
と「1年生、大きくなりましたねえ！」でし
た。

ご 後は、「タブレットの活用やグループ
かつどう ようす がっこう まな じょうきょう
活動の様子など学校での学びの状況」、
ひと かんけい じぶん つむ じゅうふく
「人との関係を自分で紡いだし修復したり
する力を身に付ける経験や場面の大切さ」、
ちから を身に付ける経験や場面の大切さ、
「それを支える周囲の大人の在り方」、
はんざいとう こ さいも おとな
「犯罪等から子どもたちを守るための大人
の心構え」等々が話題となりました。また、
がっこうひょうか ぶんせきけっか がつみっかごう
学校評価アンケート分析結果(3月3日号
さんしやう じぜん かんそう
参照)については、事前にいただいた感想や
ご質問(「生徒の校則への不満はどこにあ
る?」、「学校からの情報は適切に家庭に
伝わっている?」、「いじめは実際増えている?」、
「教師の協力の評価が上がらない
理由、思い当たることは?」等々…)への
ほそく せいと ぼごしや じゆうきじゆつ ないよう
補足として、生徒・保護者の自由記述の内容
なども交えてご説明しました(ちなみに、
「校則」に関わる生徒記述の中にあつた
もっと おお せいふく ないよう
最も多いキーワードは「制服」でした。内容
はそれぞれの子どもの観点と想いによる
かんが かが かい かい
考えが書かれていて、一様ではありません。
機会をみてまた話題にしたいと思います)。

じかんほど かい お ひとり ひょうぎいん
2時間程の会の終わりに、お一人の評議員
さんが「現代の人たち(オトナもコドモも)
は失敗をおそれる人が多くなったように
かん せいと せいふく せいふく すこ てまえ ひと そうだん
感じる。でも、失敗の少し手前で人に相談す
ることをまなぶことなども含めて「失敗をしな
がら学んでいくことの意味と価値」に気づく
ことも大切だと思う。学校でも取り組んでほ
しい」と言葉にされました。

その言葉を聞いて、その昔、バスケット

ボール部の顧問として指導していたころ、
しんじゆうせい れんしゅう
新入生の練習メニューに「「転び方」を
入れていたことを思い出しました。もう
20年以上前のことです。

きやうぎ スポーツに取り組みなかで、プレー
ちゆう てんとう
中に転倒することがあります。状況の変化
にたいおしきれないと、大きな事故につながる
こともあります(例えば、後ろ向きには
はし 走っていて足がもつれて転倒し、後頭部を床
に打ち付けるなど)。子どもは成長の過程の
どこかで、それぞれ自分の活動に適した
「転び方」を学んでいきます。「学校」もそ
の「転び方」を学ぶ場の一つであるならば、
転んだ後にまた立ち上がって走りだせる
場所でありたいと思っています。

あかばねちゆうがっこう こ しゅたいせい
赤羽根中学校は、子どもの「主体性」を
大切にしながら学校生活を作ってきた歴史
があります。コロナ禍で、感染拡大防止を
さいゆうせん せいげん
最優先としてさまざまな制限がかかってい
ましたが、改めて、その歴史を紡いでいく
ことの大切さを感じています。

「経験や体験を通して上手な転び方を学
んでいくこと」と「自分がよりよく変わって
いくためには、どうすればよいかを考え、
そして、行動すること」の二つに、子どもた
ちが生活のなかで挑戦していかれるよう、
れいわ ねんど とく べごしや
令和5年度も取り組んでまいります。保護者
・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいた
します。

赤羽根中 生徒の活動の記録

サッカー部

神奈川県中学生リーグ(3月12日)

対 藤沢市立村岡中学校 3-1 ○

茅ヶ崎寒川招待杯(松林杯)

予選リーグ1位(西中原中 3-0 ○、萩園中 2-0 ○)

リーグ別決勝 対 浜須賀中 0-3 ●